

NEC

iStorage NS500R_e

Startup Guide

スタートアップガイド

Windows Storage Server



* 8 5 6 - 1 2 0 2 1 7 - 2 8 1 - A *

2014年 4月 初版

本機を取り扱う前に本書をよくお読みください。
本書は大切に保管してください。

安全に、正しくご使用になるための情報を記載します。本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本機をご使用になる前に、本書およびユーザーズガイドを必ずお読みください(ユーザーズガイドは添付のEXPRESSBUILDERに格納しています)。また、本文中の 名称については、ユーザーズガイドの「各部の名称と機能」を参照してください。

本製品の利用目的について

本製品は、高性能コンピュータの平和利用に関する日本政府の指導対象となっています。ご使用になるときは、以下についてご注意ください。

- 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
- パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
- 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
- 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。
弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター 電話番号:03-3455-5800

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱いしてください。本書には本機のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本機内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

安全上のご注意 - つづき -

	注意
	中途半端に差し込まない 電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。
	指定以外の電源コードを使わない 本機に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">コード部分を引っ張らない。電源コードをはさまない。電源コードを折り曲げない。電源コードに薬品類をかけない。電源コードをねじらない。電源コードの上にものを載せない。電源コードを踏まない。電源コードを改造・加工・修復しない。電源コードを束ねたまま使わない。電源コードをステープラなどで固定しない。損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
	添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない 添付の電源コードは本機に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
	電源ケーブルを持って引き抜かない 電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

	注意
	1人で持ち上げない 本機の質量は最大30kg(インナーレール含む、アウターレール含めず)あります。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は2人以上で底面をしっかりと持て運んでください。また、フロントベゼルに手をかけて持ち上げないでください。フロントベゼルが外れ、装置が破損するばかりでなく、落下してけがをするおそれがあります。
	指定以外の場所に設置しない 本機を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none">ほこりの多い場所。直射日光が当たる場所。給湯器のそばなど湿気の多い場所。不安定な場所。
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
	カバーを外したまま取り付けない 本機のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。
	指を挟まない ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。
	ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない ラックから引き出した状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。
	電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない 本機内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本機内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

本書およびラベルで使用する記号とその内容

	感電のおそれがあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

全般的な注意事項

	警告
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本機は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本機を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や臭気、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、臭気、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気口やフロッピーディスクドライブ、光ディスクドライブなどのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
	規格以外のラックで使用しない 本機はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックにも取り付けで使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本機で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。
	指定以外の場所で使用しない 本機を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。 本機やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

	注意
	指定以外のインタフェースケーブルを使用しない インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本機やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。 <ul style="list-style-type: none">破損したケーブルコネクタを使用しない。ケーブルを踏まない。破損したケーブルを使用しない。ケーブルの上にものを載せない。ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

	警告
	自分で分解・修理・改造はしない 本機の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	光ディスクドライブの内部をのぞかない 光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明のおそれがあります。(レーザー光は目に見えません)。
	リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリーを取り外さない 本機内部にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーもしくは、リチウムイオンバッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡してください。
	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや本機内蔵用オプションの取り付け/取り外し、本機内ケーブルの取り付け/取り外しは、本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本機内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよこふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

	注意
	高温注意 本機の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ本機内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。
	中途半端に取り付けない 電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
	感電注意 本機のハードディスクドライブはホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

運用中の注意事項

	雷がなったら触らない 雷が鳴り出したら、ケーブル類を含めて本機には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
	ペットを近づけない 本機にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入ると火災や感電の原因となります。
	光ディスクドライブのトレイを引き出したまま放置しない 引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。

	注意
	日本国外で使用しない 本機は、日本国内用として製造・販売されています。日本国外では使用できません。本機を日本国外で使用するると火災や感電の原因となります。
	本機内に水や異物を入れない 本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

	注意
	1人で搬送・設置をしない ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。
	荷重が集中してしまうような設置はしない ラック、および取り付けけた装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
	1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。
	ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。
	複数台の装置をラックから引き出した状態にしない 複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。
	定格電源を超える配線はしない やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

	警告
	ぬれた手で電源プラグを持たない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
	アース線をガス管につながない アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

	注意
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本機の電源仕様に合わせていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。クラス0Iのアース線付きACコードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
	たこ足配線にしない コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

警告ラベル

	注意
	動作中に装置をラックから引き出さない 本機が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
	装置の上にものを載せない 本機がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
	巻き込み注意 本機の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベル

危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルがあります。これは本製品を取り扱う上で、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、または汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

ラベルの内容をよく読んで警告事項を守ってください。

* 本製品は3.5型ドライブと2.5型ドライブの2つのタイプのモデルがありますが、ラベルの貼り付け位置はどちらのモデルも同じです。

製品の譲渡と廃棄

本機または本機に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するとき、または廃棄するとき、次の注意事項を守ってください。

- 本機について**
第三者へ譲渡するときは、添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。
- ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブ上に残っていることがあります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。**

- 添付のソフトウェアについて**
添付のソフトウェアを第三者に譲渡するときは、次の注意事項を守ってください。
 - 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は、それらの複製物を持たないでください。
 - 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たしてください。
 - 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、アンインストールしてから譲渡してください。

- 消耗品・本機の廃棄について**
本機、ハードディスクドライブ、オプションボード、バッテリーなどの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本機と一緒に廃棄してください。本機に搭載されているバッテリー(電池)の廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

航空・海上輸送に関する注意

本機と一部のオプションは、リチウム金属電池またはリチウムイオン電池を使っています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本機またはオプションを航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体
- 電源コード×2
- フロントベゼル
- ベゼルロックキー（フロントベゼルに貼り付けられています）
- ソフトウェアパッケージ式^{*1}
- 保証書（本体梱包箱に貼り付けられています）
- スタートアップガイド（本書）
- スライドレール式
 - インナーレールR×1
 - インナーレールL×1
 - アウターレールR×1
 - アウターレールL×1
- EXPRESSBUILDER^{*2}

^{*1} ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品を参照してください。

^{*2} ドキュメントは「EXPRESSBUILDER」内に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCにインストールしておいてください。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます（オプションを購入していないときや、BTOで購入されたお客様はStep3へ進んでください）。

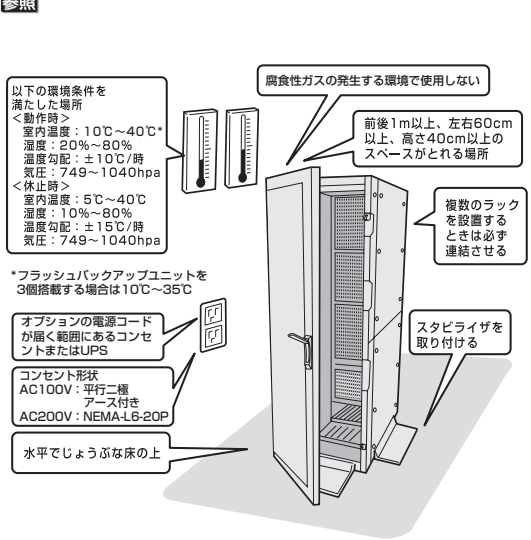
「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

実装メモリが96GBを超える場合は、メモリダンプの格納先をシステムボリューム以外に設定してください。また、ページファイルは、システムボリューム以外のシャドウコピーのスケジュールを設定していないボリュームに設定してください。

Step 3 ラックを設置する

本体はEIA規格に適合した19型（インチ）ラックに設置して使用します。次の条件を守ってラックを設置してください。

「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



Step 7 初期設定をする

管理PCで初期設定ツールを使用し、本装置の初期設定を行います。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理PC（Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8/Windows 8.1）と添付のEXPRESSBUILDERを使用します。

初期設定に必要な情報として、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「コンピュータ名」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

* 管理PCはiStorage NSと同一LAN上に存在するコンピュータを使用します。（管理PCは、他のネットワークへの接続は行わないでください。）

* 管理PCでファイアウォールが有効になっていると、初期設定が正しく行えない場合があります。初期設定ツールで使用するポートをファイアウォールの例外に設定してください。設定方法については、初期設定ツールのヘルプの「検索」タブで「Windows ファイアウォール設定手順書」を検索してください。

* 初期設定は1台ずつ行ってください。

* 初期設定ツールでは、iStorage NSのUDP 30000番ポートを使用します。

初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。
EXPRESSBUILDERの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 本体の電源が入っていることを確認し、管理PCの光ディスクドライブにEXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
- ② 【各種アプリケーション】をクリックして、表示されたメニューから【初期設定ツール】をクリックします。
- ③ 初回のみ【ご確認】の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、【OK】をクリックします。
- ④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、【開始】をクリックします。
対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の【サーバーのコンピュータ名】欄に「未設定」と表示されます。「未設定」のサーバーが検出されました、【停止】をクリックして自動発見を停止後、【終了】をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでは、構成によって、20～30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度【開始】をクリックしてください。

Step 4 本体を設置する

本体をEIA規格に適合した19型（インチ）ラックに設置します。

「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

ラックの設置や本体の取り付けは必ず複数名で行ってください。

本機は当社および他社製ラックに取り付けることができます。次の手順でラックへ取り付けます。

●ラック搭載前の準備
ラックへ取り付けの前に、レールの確認・取り付けを行います。

レールは左右で形状が異なります。取り付けを間違った場合、ラックに取り付けることができません。よく確認して取り付けてください。

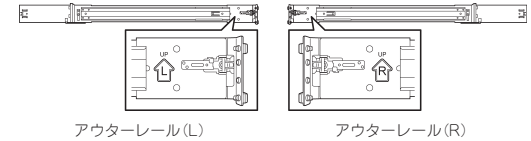
●インナーレールの確認
インナーレールの向きを確認します。



●インナーレールの取り付け
本機の前面からみて左にインナーレール(L)、右にインナーレール(R)を取り付けます。

- ① インナーレールを本機側面3箇所の突起に合わせて、本機背面側にスライドさせます。
このときにインナーレールの中央付近にあるロックが「カチッ」と音がして、ロックされていることを確認してください。
- ② 反対側も①と同様に取り付けます。

●アウターレールの確認
添付のアウターレールの向きを確認します。アウターレールにある「L」、「R」の刻印を確認してください。



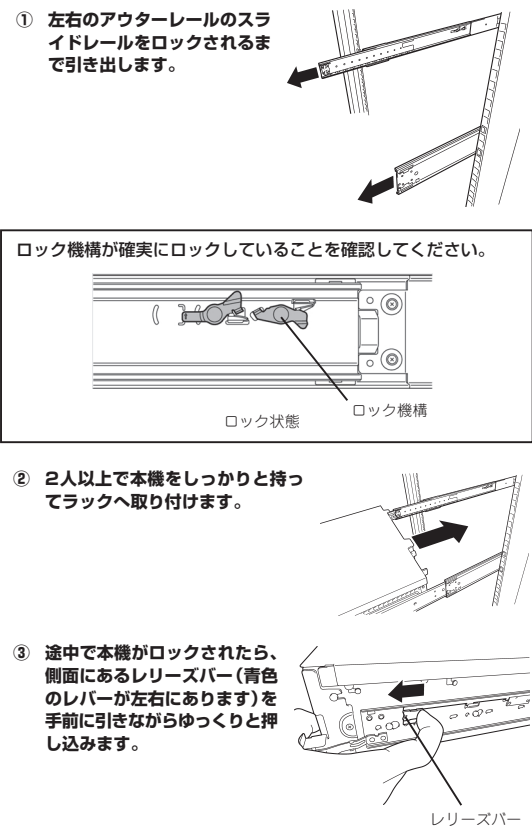
●アウターレールの取り付け
アウターレールの四角い突起を、19型ラックの角穴に入れて取り付けます。この時に「カチッ」と音がして、ロックしたことを確認してください。右図は左側（前面）を示していますが、右側（背面）、右側（前面/背面）も同様に付けてください。もう一方のレールを取り付けるとき、すでに取り付けられているレールと同じ高さに取り付けてください。

レールが確実にロックされ、脱落しないことを確認してください。

前後に多少ガタツキがでることがありますが、製品に支障はありません。

●取り付け手順
次の手順で本機をラックへ取り付けます。取り付けは2名以上で行ってください。

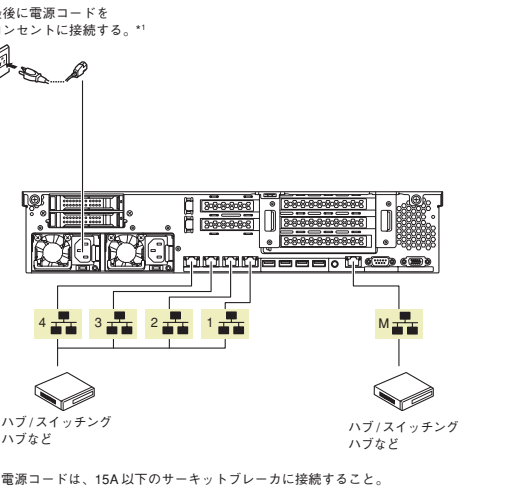
- ① 左右のアウターレールのスライドレールをロックされるまで引き出します。
- ② 2人以上で本機をしっかりと持ってラックへ取り付けます。
- ③ 途中で本機がロックされたら、側面にあるリリースバー（青色のレバーが左右にあります）を手前に引きながらゆっくりと押し込みます。
- ④ 完全に本機を押し込むと装置前面のロックがかかり本機を固定できます。



Step 5 ケーブルを接続する

ネットワークケーブルと付属の電源コードを接続します。

詳しくは「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



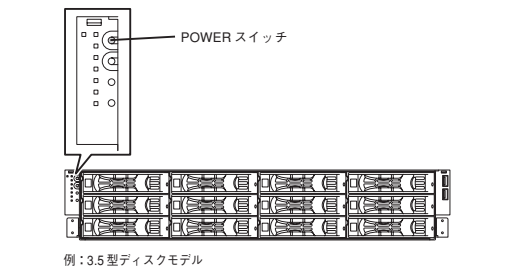
- 本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のLANケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。

Step 6 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。



例：3.5型ディスクモデル

- ⑦ 初期設定ツールで使用したサービスを停止・無効化します。自動起動されているNEC提供の【管理者メニュー】から【サービス】をクリックします。
サービスの一覧から【iStrageNS(UI_SV)】を選び、ダブルクリックします。
プロパティ画面が開いたら、スタートアップの種類を【自動】から【無効】に変更します。
【停止】ボタンを押下後、サービスが停止されたことを確認し、【OK】をクリックして画面を閉じます。
- ⑧ 初期構成タスク画面が表示されますので、必要事項を設定します。
 - * タイムゾーンの設定
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。
 - * コンピューター名とドメインの入力
初期設定ツールでコンピューター名を変更していない場合、ドメインに参加する場合は設定してください。（再起動が必要となります）

Step 9 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバー管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします（その他にもRAIDシステムを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは各ソフトウェアのドキュメントを参照してください）。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバーに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータへの通報などを行うユーティリティです。ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC（ESMPRO/ServerManager）のディスプレイから確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから【各種アプリケーション】－【ESMPRO】の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS 連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS 連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、リモートデスクトップ接続が起動できます。EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから【各種アプリケーション】－【iStorage NS 連携モジュール】の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

"Windowsファイアウォール"ウィンドウの左上の【Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可】をクリックします。
"許可されたアプリ"ウィンドウの一覧の"iStraguivsv"の左端のチェックをはずし、【OK】をクリックします。

Step 8 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCを使用して必要事項を設定します。設定方法の詳細が必要な場合は、管理者ガイドを参照してください。

- ① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して【OK】をクリックします。
- 出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。
- ④ リモートデスクトップ接続の画面内で【Ctrl+Alt+End】キーを押します。
【Ctrl+Alt+Delete】ではないので注意してください
- ⑤ iStorage NSに接続されていることを確認し、【パスワードの変更】をクリックして、パスワードの変更を行います。
 - 本装置のセキュリティを保つために、出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。
 - パスワードの文字数は6文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。
 - パスワードの有効期限は初期設定では42日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。
- ⑥ 初期設定ツールで使用したポートを閉鎖します。
自動起動されているNEC提供の【管理者メニュー】から【Windowsファイアウォール】をクリックします。
"Windowsファイアウォール"ウィンドウの左上の【Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可】をクリックします。
"許可されたアプリ"ウィンドウの一覧の"iStraguivsv"の左端のチェックをはずし、【OK】をクリックします。

お読みください

増設メモリについて

実装メモリが96GBを超える場合は、メモリダンプおよびページファイルの格納先をシステムボリューム以外に設定してください。なお、ページファイルは、シャドウコピーのスケジュールが設定されていないボリュームに格納する必要があります。手順については、管理者ガイド概要編「3.6 メモリを増設する」をご確認ください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

Storage Space について

Storage SpaceはRAID機能が有効になっている物理ディスクをサポートしていません。iStorage NSシリーズでは、RAID機能を標準で実装しており、無効化することができません。このことから、iStorage NSシリーズにおいては、Storage Spaceをご利用頂くことはできません。

ボリュームサイズの変更

ユーザーボリュームサイズを変更する場合は、データを格納する前に対応が必要です。手順については、管理者ガイド概要編「1.2 ボリュームを検討する」をご確認ください。

NICチームングについて

OSのNICチーム機能を利用する場合は、すべて同じ速度のNICを用いてチームを作成してください。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイド・メンテナンスガイドはEXPRESSBUILDERに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

[NEC iStorage NSシリーズサポート情報]
http://support.express.nec.co.jp/istorage/
[補足]
上記 URL にて「型番・モデル名から探す」を選択し、テキストボックスにモデル名を入力して検索してください。

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。
http://support.express.nec.co.jp/istorage/
また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスをご契約いただく、電話や電子メールなどのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバーへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ（修正プログラム）情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。
「PP・サポートサービス」の詳細内容については、以下をご覧ください。
「PP・サポートサービス」ご案内のページ
http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html

お客様登録をする

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。インターネット（ClubExpressサイト）よりユーザ登録を行ってください。
http://club.express.nec.co.jp

商標について
EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2014
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。